



旭自治会だより 号 外

令和5年11月15日 第69号 発行 旭自治会

TEL: 0771-22-5533

HPアドレス: kameoka-asahi.com (QRコード)



子供から大人までの春にあった賑わいをもう一度

地域を盛り上げるべく結成された若手チーム9 (KYU) によるマーケットが旭町にて開催されます。

9 (KYU)主催、秋のカワヒガシマーケット！今回も旭町の3つの場所で開催します。川東の農家さん・作家さん・お菓子屋さん・レストランなど合計20組が出店予定です。皆で楽しめるワークショップなどの体験も開催予定です。

[会場と出店者]

なごみの里あさひ(京都府亀岡市旭町仲田 105)

- SPOON(手作り石鹸・キャンドル) ● OTOUNO PASTA(パスタ)
- スピカ(カレー) ● KURKI COFFEE(コーヒー・焼き菓子) ● 保津川こなこな研究所(ポン菓子など) ● まどころ(木の香アート)

宮前農園直売所(京都府亀岡市旭町大通 109)

- 宮前農園(いちごコーヒー・スコーン) ● Glass Studio Calore(ガラス製品) ● めぐる農園(野菜) ● AMAIRO CANDY(シーグラス アクセサリー) ● 八助(はちみつ・リップクリームWS) ● saji & つきよみ(お弁当・タイカレーなど)(焼き菓子)

旭の広場(京都府亀岡市旭町里ノ西 10)

- 丹波亀吾郎(かめやき) ● さとちゃん納得中華まん(中華まん)
- ぬのとくらしと(手作り雑貨・洋服) ● 上林家(絵画・アクセサリー・ものづくりWS) ● ベビーサイン教室ぱふ(お空にお絵描きWS) ● さんぱち食堂(フードドリンク) ● 旭 kooboo(コーヒー・ポップコーン・熟成焼き芋・薬膳WS)



今年の春にカワヒガシマーケットが行われたとき、最近には見られない、小さな子供たちの賑わいや大人たちの笑顔。あの雰囲気は今でも忘れることができません。そして以前から旭町自治会でも紹介させてもらっている、若手チーム9 (KYU) と一緒にこれからの旭町を盛り上げていけたらと願います。

旭の農業を守り育てる【農事組合法人 旭】

旭町は農業が主要な産業で、これを守り育てようとしているのが、「農事組合法人 旭」です。どのような活動をされているのか役員さんにお聞きしました。



旭町も高齢化が進む中、農業を守り育てるためどうするか、住民にアンケート調査が行われました。

それを受けて平成14年「受託部会」が設立され共同の農機具を購入などが行われ、平成20年4月に「地域の農業は地域で守る」を合言葉として「農事組合法人 旭」が誕生しました。

現在農事組合法人旭は、受託作業・農地管理・物産販売・「なごみの里あさひ」の経営 この4つの事業を行っています。

1. 受託作業: 農作業を代わりに行うことで、高齢化が進む中で労力不足となっている地域の農家を支援しています。
2. 農地管理: 土地を法人に預け、土地の管理を委託することで、土地の保全と効果的な運用を支援しています。
3. 物産販売: 法人が管理している農地で米を中心に農産物を販売しています。
4. 平成26年6月「農産物直売所 なごみの里あさひ」



ひ」がオープン、地域で生産したもの、又それを加工し販売しています。又都市と農林の交流の場となっています。

「地域の農業は地域で守る」を合言葉とし、地域農業の持続可能性を重視しています。関連年表を見ると、都市住民との交流事業や田植えツアー、京都駅・駅ナカ販売店など、他地域との連携やイベントも積極的に行われていました。インタビュー中「こんなこともしたなあ〜」「そうや そうや あの時は〇〇やったなあ〜」と懐かしむ声を聞くと、このような企画

をまた計画してもらえないかと思いました。

一方で、「役員不足」の課題が大きく、地域づくりに参画する人材が不足していることが悩みです。と言われていました。新しいアイデアを取り入れ、組織を活性化させるためには新たなメンバーやリーダーシップが求められています。また、新規就農者への支援や農地の貸し出しを通じて、地域の農業を維持、さらに発展させる試みも行われています。

このような課題は、高齢化が進む地域においては、地域経済と社会の活性化にとって重要な問題となっており、地域社会全体での取組協力が必要です。そんな中「農事組合法人旭」には、これからの旭町の活性化の1つの力となってほしいと思いました。

